

HTTPS トネリングの Basic 認証無効化への対処

1. HTTPS トネリングの Basic 認証無効化への対処

(JRE8 Update111 以後のリビジョンをインストールしている端末のみ)

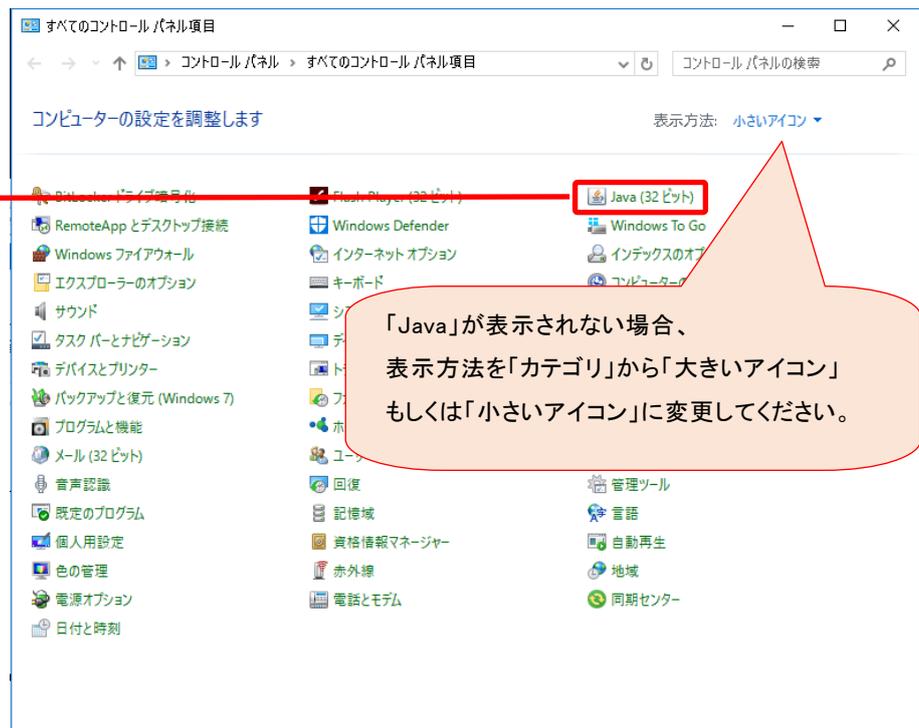
JRE8 Update111 より HTTPS トネリングの Basic 認証無効化の影響によって、Basic 認証が必要な Proxy サーバ経由の通信ができない場合があります。

その場合、以下のいずれかの対処により回避可能です。

対処方法1 : JVM オプション設定による対処

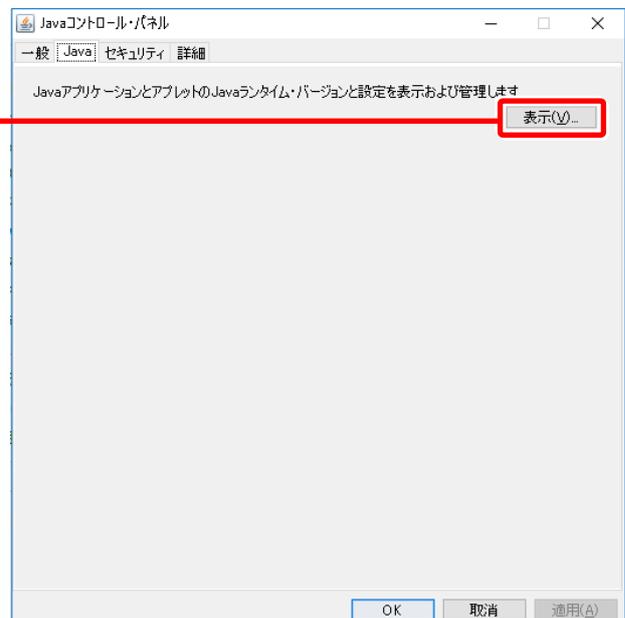
Step 1

「コントロールパネル」を開き、「Java」をクリックし、「Java コントロールパネル」を立ち上げてください。



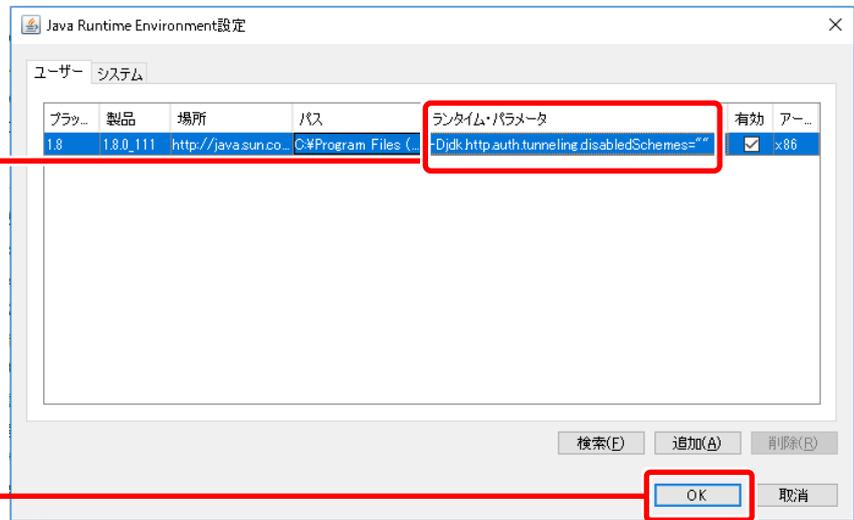
Step 2

「Java」タブを選択し、「表示 (V)」ボタンをクリックしてください。



Step 3

「ランタイム・パラメータ」欄に
「-Djdk.http.auth.tunneling.disabledSchemes=""」
を入力してください。

**Step 4**

「OK」ボタンをクリックして
ください。

対処方法2 : 「net.properties」ファイルの修正による対処

以下ファイルを開き、対象行を削除もしくはコメントアウト(行の左端に「#」を追加)してください。

ファイル(32bitOS の場合) : C:\Program Files\Java\jre1.8.0_111\lib\net.properties

ファイル(64bitOS の場合) : C:\Program Files (x86)\Java\jre1.8.0_111\lib\net.properties

対象行 :jdk.http.auth.tunneling.disabledSchemes=Basic

※コメントアウトする場合、以下の通りとなります。

変更前 :jdk.http.auth.tunneling.disabledSchemes=Basic

変更後 :#jdk.http.auth.tunneling.disabledSchemes=Basic